



いづみ 泉 議員 ゆみ 愉美 議員

更年期
怖れずみんなで
乗り切ろう！

問 女性の健康に目を向けた取り組みは

町長 健康で活躍できる社会を目指す

産後ケア事業

問産後、周りに頼れる人がいない方のサポートや産後うつ防止効果もある産後ケア事業だが、助産院や病院担当者と福祉保健課との連携体制は。

町長ケアの内容や母子の状態は毎月提出される報告書で確認しており、心配なケースがあれば保健師が訪問するなどの対応をしている。
問利用対象者は現在、お母さんと赤ちゃんだけが、お父さんも一緒にケアを受けられるカッブル講座へ拡充する考えはないか。

更年期の健康不安

町長お父さんのケアは今のところ考えていないが、利用者の多くは助産師が自宅に来る訪問型を利用しており、お父さんも同席することが可能である。

問血液検査で女性ホルモンの数値を調べられるが、町の健康診断の検査項目に入れることはできないか。

町長ホルモン数値が減っても症状が出るとは限らず、健診での効果は難しい。症状がある

方は婦人科で受診するのが良いと思う。
問更年期に関する情報やチェックリストを提供するなどの気づきを促す取り組みはできないか。

町長特定健診やがん検診の案内送付に併せてパンフレットを入れることは可能なので、今後検討したい。

女性町職員が働きやすい環境は

問女性町職員が働きやすい環境に向けての健康課題への対応は。



女性特有の病気への支援実績と拡充

問女性特有の病気で代表的なものに乳がんや子宮がんがある。他の臓器のがん検診に比べて受診率が低い

が、受診勧奨の方法や受診率向上に向けた取り組みの考えは。

町長5年ごとに検診の無料クーポンを送付することで受診勧奨に取り組んでいる。

他にも、広報紙でお知らせしたり、健康月間にはがんに関する展示をして周知に努めて

いる。

女性に健康手帳を

問自身の健康を記録でき、病気の予防法、健診の情報掲載する健康手帳を作成し配布できないか。

町長情報提供や受診勧奨に有効であり、研究しながら検討する。

問今後どのように女性特有の健康課題に向き合っていくか。

町長女性の健康も守り、全ての町民が健康で老後を迎え、活躍できる社会を目指したい。



泉議員の一般質問を視聴できます